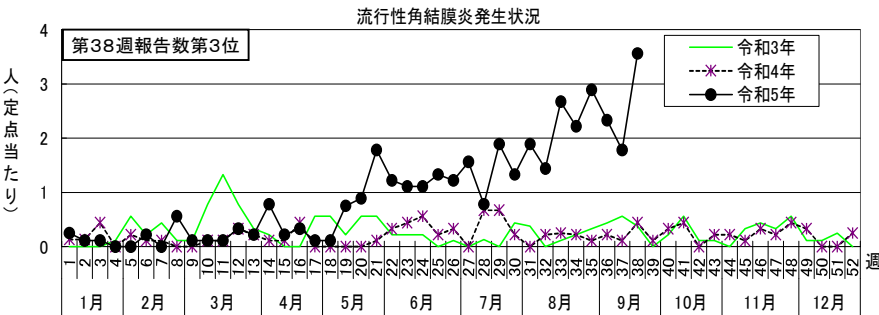
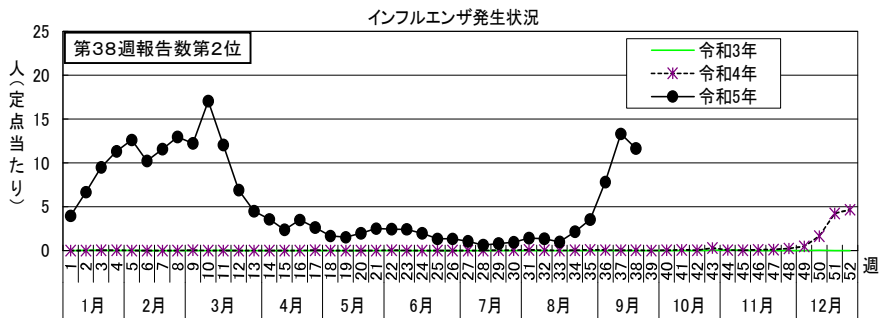
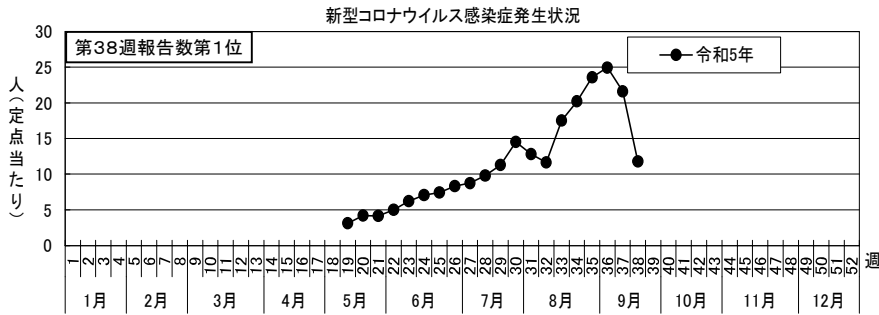


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年9月18日（月）～令和5年9月24日（日）〔令和5年第38週〕の感染症発生状況

第38週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 新型コロナウイルス感染症 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。  
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は11.80人と前週（21.59人）から減少しました。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は11.64人と前週（13.31人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.56人と前週（1.78人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



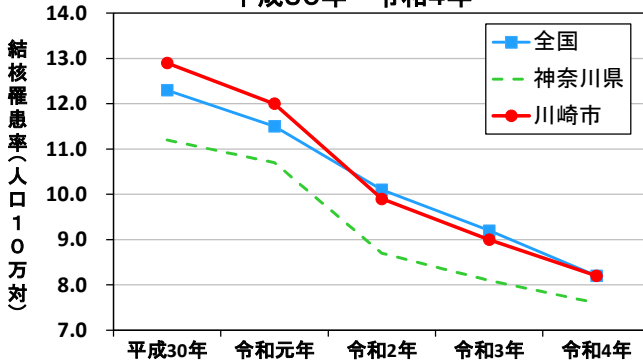
## 結核予防週間～いまも1日平均28人が結核と診断！～

令和5年9月24日から9月30日までは結核予防週間です。

川崎市における令和4年の結核罹患率は8.2（人口10万対）と全国と同等ですが、神奈川県全体の7.6より高く、県内の政令指定都市の中で最多です。年齢階級別では、川崎市は20歳代の割合が10.2%と、若年層の占める割合が全国より高くなっています。また、20歳代は外国生まれの患者の割合が61.5%を占めていました。

結核の初期症状には、長引く咳、痰、微熱、体のだるさ等がありますが、特有の症状がないため、気付かないうちに進行してしまうことがあります。咳や痰が2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

全国、神奈川県、川崎市における結核罹患率の年次推移  
 -平成30年～令和4年-



全国と川崎市における新規結核患者の状況  
 (令和4年)

